

# 令和 8年度予算見積調書

課室名：河川環境課  
担当名：ダム管理担当  
内線：5116

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
N334	ダム等施設管理費（通常）			一般会計	土木費	河川費	河川総務費	ダム等施設管理費	
事業期間	昭和61年度～	根拠法令	河川法第17条、第66条			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	6, 11, 13
						分野施策	0103 治水・治山対策の推進	SDGsターゲット	6-4, 11-b, 13-1
1 事業概要 有間ダム、合角ダム、権現堂調節池の適切な管理・運用を継続し、洪水調節機能や利水の安定供給など良好なダム機能を維持することで県民へ安心安全を提供する。 令和7年度は、点検等の維持管理業務を行うとともに、長寿命化計画に基づいた設備修繕を実施し施設の延命化を図る。  管理事務所運用費            88,017千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 管理事務所運用費    88,017千円 公共利用料金、燃料費、設備修繕、職員の旅費、資格試験費等  (2) 事業計画 ダムの日常的な点検や施設管理、維持修繕を行うことでダム施設を良好に保つ  (3) 事業効果 ダム施設が良好に保たれることにより、適切な運用が可能となる。 【活動指標（アウトプット）】 ダム施設の適切な維持管理 【成果指標（アウトカム）】 洪水調節機能や利水の安定供給など良好なダム機能を維持 災害時の洪水調節機能により、下流域の水位低下  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 利水者との共同管理施設であるため、事業の実施については、関係団体と連携を密にしている。					
2 事業主体及び負担区分 (1) 有間        (県66.4%・企業局14.4%・飯能市19.2%) (2) 合角        (県66.5%・企業局29.6%・寄居町2.0%、 深谷市0.7%・秩父広域1.2%) (3) 権現堂 (県63.9%・企業局31.0%・茨城県5.1%)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.1人＝10,450千円									

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
		諸 収 入						
決定額	88,017	31,695					56,322	755
前年額	87,262	30,940					56,322	

## 事業内訳書

事業名	ダム等施設管理費（通常）		
単位事業名	ダム等施設管理費（通常）	予算額	88,017千円

### ○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・ 河川受託事業収入	30,705	△55	ダム等施設管理受託事業収入 企業局、飯能市ほか4団体
諸収入・ 雑入	990	810	ネーミングライツ収入
一般財源	56,322	0	
合計	88,017	755	

### ○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	1,162	107	通常旅費
需用費	66,133	△4,920	光熱水費等
役務費	19,100	5,031	通信運搬費等
使用料及び賃借料	204	△73	受信料、借地料等

単位事業名	ダム等施設管理費（通常）	予算額	88,017千円
-------	--------------	-----	----------

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
備品購入費	700	700	現場管理機材購入費
負担金、補助及び交付金	632	△113	講習費用等
公課費	86	23	自動車重量税等
合計	88,017	755	